

24時間換気機能付 浴室暖房・換気・乾燥機

施工説明書

品番：BS-141H



販売店・工事店さま用

- 【注意】・浴室の天井に取付用開口部(410×285mm)が必要です。
 ・本製品は、本体を天井面の下から取り付ける方式となっています。〈天井埋込型〉
 ・本製品は交流100V専用となっています。






1 安全のために必ずお守りください

- 取り付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

●表示の意味は次のとおりになっています。






 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●図記号の意味は次のとおりになっています。








	「禁止」を表します
	「分解禁止」を表します
	「接触禁止」を表します
	「必ず行うこと」を表します
	「D種接地工事によるアース線を必ず接続すること」を表します

- 取付施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないか確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

警告

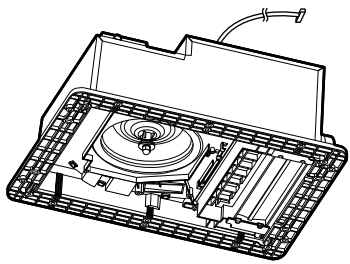
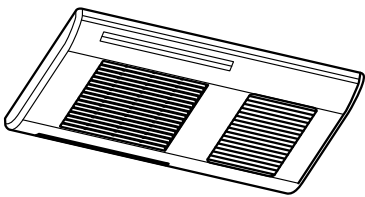
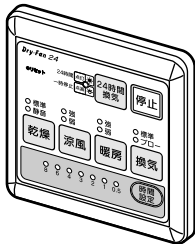
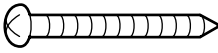
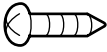


	内釜式風呂を設置した浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。		取付注意 メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板と電氣的に接触しないように取り付ける 漏電した場合、発火することがあります。
	アースをD種接地工事に基づいて確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する アース接続 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。		分解禁止 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
	交流100V以外では使用しない 指定電圧 単相 AC100V 使用禁止 火災・感電の原因となります。		

注意

	取付注意 この浴室暖房・換気・乾燥機の重量は約6kgあります。本体取付工事は十分強度が得られるよう補強材などを取り付け、確実に行う 落下により、けがをする恐れがあります。		取付注意 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
	取付注意 電源電線の接続は確実に行う 接続部が過熱して発火の恐れがあります。		禁止 本体やリモコンを洗浄したり、雨ざらしにしない 火災や故障、感電の原因になります。
	取付注意 部品の取り付けは確実に行う 落下により、けがをする恐れがあります。		取付注意 リモコンは、浴室の外に取り付ける 感電の恐れがあります。
	取付注意 電源は専用回路とし、途中にスイッチを設けない 火災や故障の原因になります。		

2 各部の名称と寸法 (単位: mm)

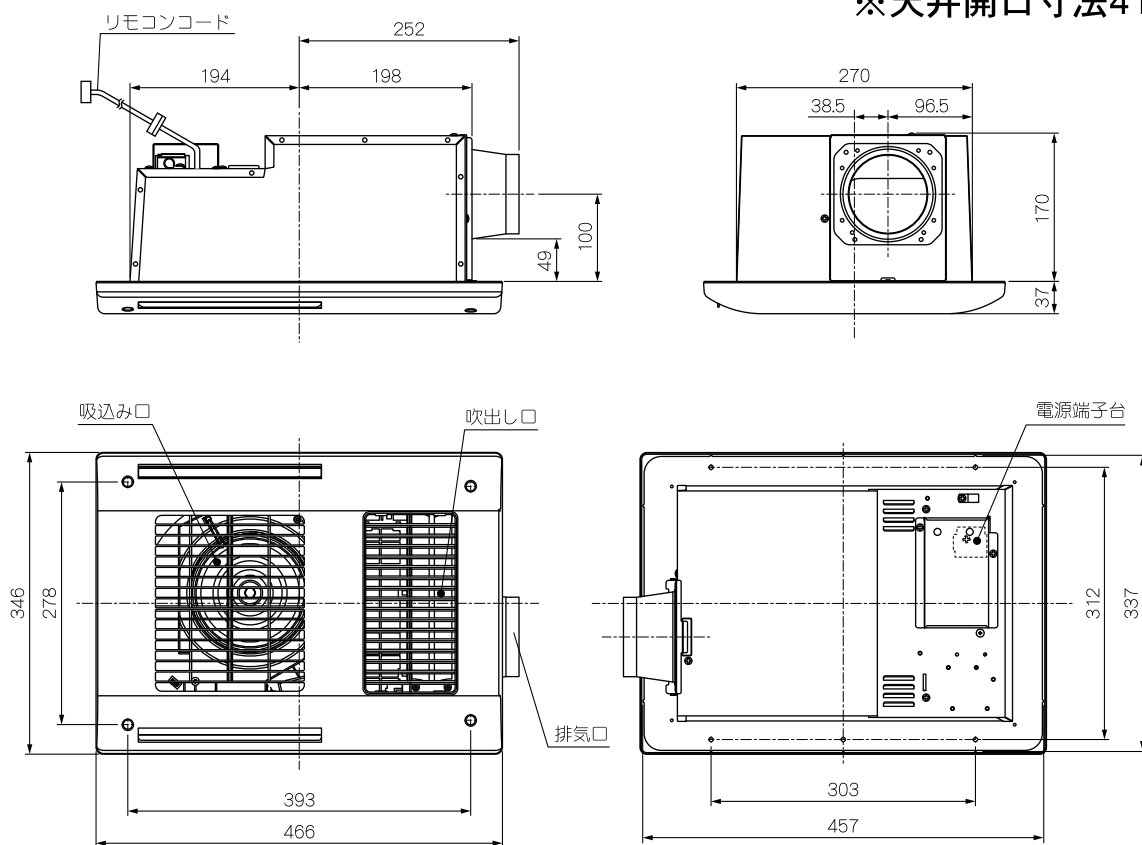
梱包内容

本体 1台 	フロントパネル 1個  フィルター(ネット)付き	リモコン 1個 
リモコンコード(5m)付き	+トラスタッピンねじ4×40……………6本 (本体取付用)	
施工説明書 1枚 この施工説明書を表します。 ※必ずお客様にお渡しください。	+トラスタッピンねじ4×14 ……4本 (フロントパネル取付用)	
	+皿タッピンねじ4×35……………4本 (リモコン取付用)	
取扱説明書 1冊 ※必ずお客様にお渡しください。	ねじ穴カバー……………4個 (フロントパネル用)	

■本体外形寸法図 (単位: mm)

ダクト呼び径 φ100

※天井開口寸法410×285



3 気をつけていただきたいこと

●この浴室暖房・換気・乾燥機は、浴室天井取り付け専用です。

製品の取り付けには、下記のような基準があります。

なお、地域によっては指導致異なる場合がありますので、所轄の行政官庁または消防署にご確認ください。

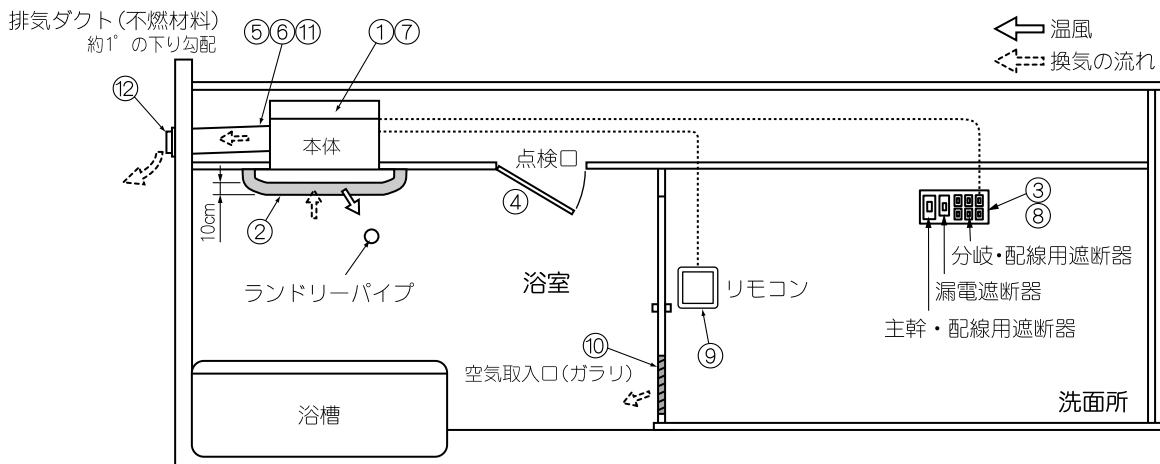
「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令(平成14年総務省令第24号。)」及び「対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準(平成14年消防庁告示第1号)」が制定され、平成15年1月1日から施行されました。当該機器は、上記基準に準拠しています。

3 気をつけていただきたいこと(続き)

■ご注意

「**1 安全のために必ずお守りください**」の項をよくお読みいただき、さらに次の事項をあわせてお守りください。

- ① 機器本体は可燃物との距離を開ける必要はありません。
(設置状態において、機器本体の浴室外に該当する部位と可燃物の距離が0cmとなっても問題ありません。)
- ② 浴室内の温風吹出口および空気吸込口の前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けないでください。
- ③ 漏電遮断器を設け、機器本体のアース端子に規定のアース線を確実に接続してください。
- ④ 機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口を設けてください。
- ⑤ ダクトの材質は、不燃材料で造られたものをご使用ください。
- ⑥ ダクトは専用としてください。
- ⑦ 機器本体は上階スラブや天井などに堅固に取り付けてください。
- ⑧ 電源は専用の配線用遮断器(安全ブレーカー-20A)から配線し、途中にスイッチを設けないでください。
- ⑨ リモコンは、必ず浴室外に取り付けてください。決して浴室内に取り付けないでください。故障の原因になります。
- ⑩ 換気風量を確保するため、浴室ドアに空気取入口(ガラリ)を設けていることを確認してください。
(有効開口面積100cm²以上)
- ⑪ 排気ダクトは、屋外に向かって約1°の下り勾配にして、雨水や結露水の逆流を防止してください。
- ⑫ 排気ダクトの外壁面には、ベントキャップやウエザーカバーなどを取り付け、雨水や鳥などの侵入を防いでください。



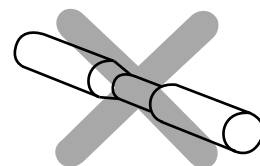
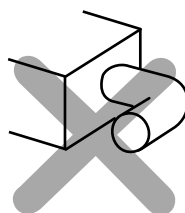
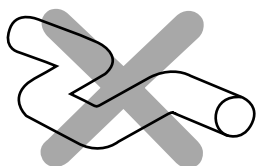
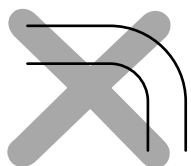
■次のような特殊な環境でのご使用は避けてください。

温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温になる場所などでの設置はしないでください。故障の原因になります。

■次のようなダクト工事はしないでください。

R2D (R: 曲げ半径、D: ダクト直径) 以下に曲げないでください。風量低下の原因になります。

- 極端な曲げ (90°以上曲げないでください。)
- 多数の曲げ (曲げ数が多くなれば風量が低下します。)
- 排気口のすぐそばでの曲げ
- 接続ダクト径を極端に小さくする。(しぼり)

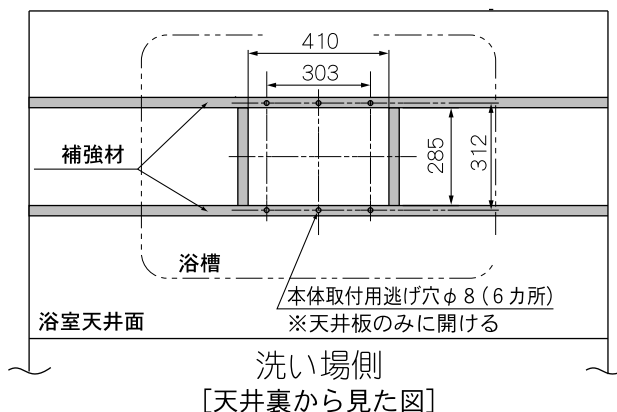


4 取付前の準備 [浴室の天井板に410×285mmの開口部を設けてください。]

●浴室暖房・換気・乾燥機の取付位置は、下図位置が推奨位置となり、浴槽の上で吹出し口が洗い場側に向くのを標準的な取付方向としてください。但し、吹出し口が反対でも機能上問題ありません。その他、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置をご検討ください

- ① 浴室の天井板に下図位置に410×285mmの開口部を設けてください。
- ② 浴室の天井に補強材(右下図の 部分)を設けてください。ダクト側の補強材の厚さは、35mm以下(天井板含む)となります。
この寸法より厚いと、排気ダクト接続部が取り付けられません。

- 部分に補強材を設けてください。
- 浴室天井板に本体取付用逃げ穴(φ8)6カ所を必ず開けてください。



⚠ 注意



取付注意

天井板が塩ビ鋼板の場合は、必ず開口部小口に錆び止め材を施す。

5 本体の取り付け

①本体を取り付ける前に、浴室に対して本体取付方向を確認し、電源端子台のケーブル差し込み穴が点検口側に向くよう電源端子台を取り付け直してください。尚、図1のような場合は電源端子台を取り付け直す必要はありません。

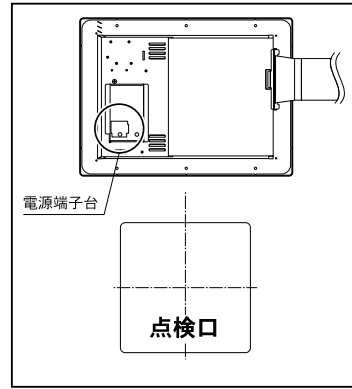


図1

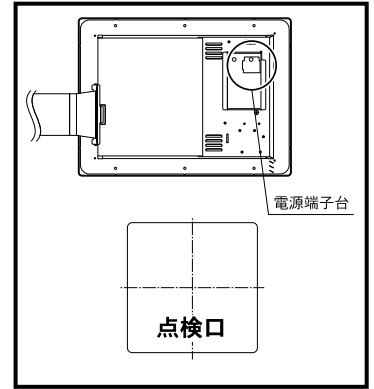
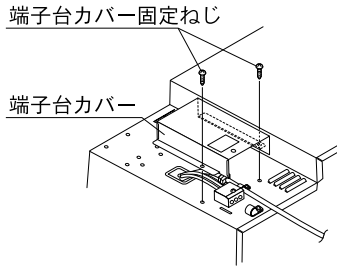


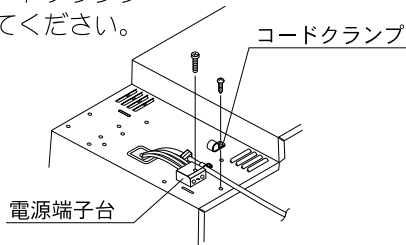
図2

図2のような場合、下記の手順を参照し、電源端子台を取り付け直してください。

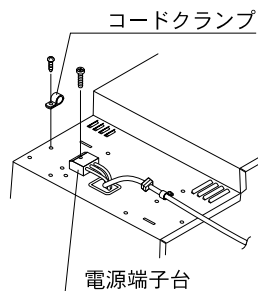
①+ドライバーで端子台カバー固定ねじ2本を取り外し、端子台カバーを取り外してください。



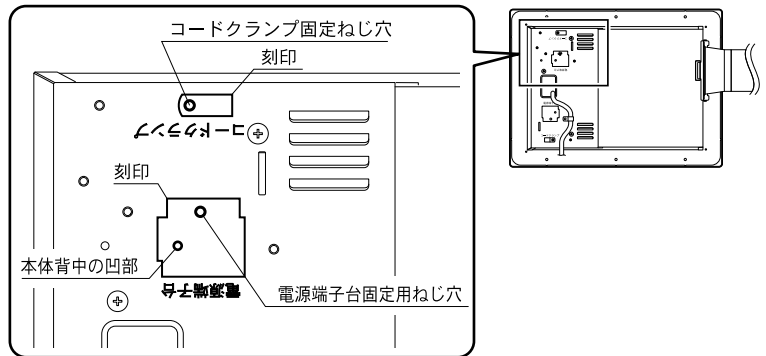
②電源端子台とコードクランプ1個を取り外してください。



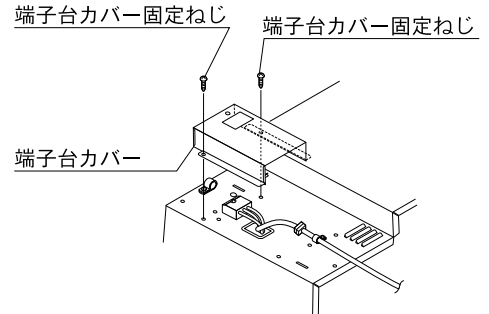
③電源端子台を180°回転させ、電源端子台下面にある凸部を本体背中の凹部に差し、ねじで固定してください。コードクランプを図の位置に固定してください。**各製品の取り付けは刻印を参照し行ってください。**



! 電源端子台およびコードクランプ取付位置には刻印が記されています。正しい位置に固定してください。
取付注意



④端子台カバーを180°回転させ、図の位置に端子台カバー固定ねじ2本で固定してください。



⚠ 注意



取付注意

電源端子台の向きを必ず確認する。電源端子台の向きを考えずに本体を取り付けた場合、電気工事の際、作業がやりにくくなり接続不良が発生する恐れがあります。

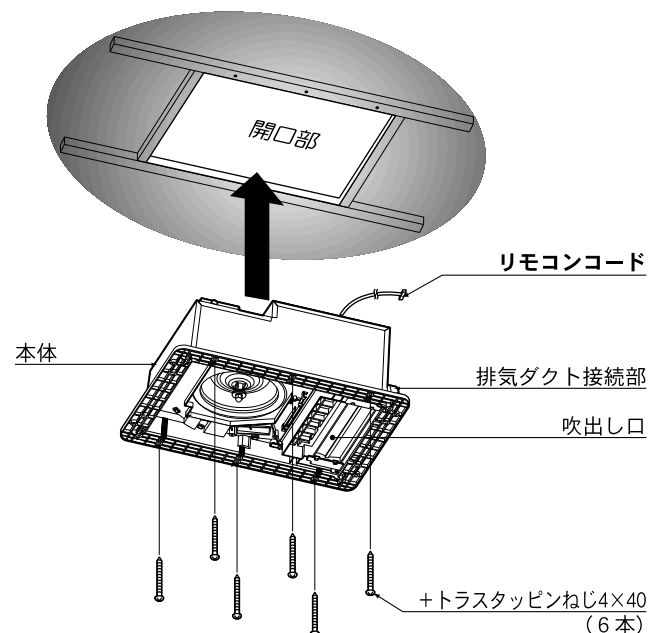
②本体を排気ダクト接続部側から開口部に差し込み、付属の+トラスタッピンねじ4×40(本体取付用)6本で取り付けてください。吹出し口が洗い場側に向くのが標準的な取付方向です。但し、吹出し口が反対でも機能上問題ありません。

⚠ 注意



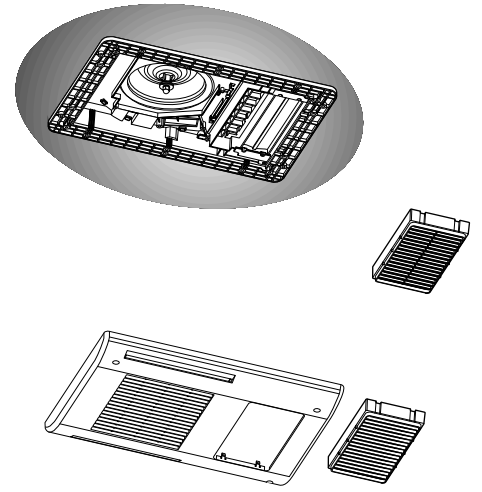
取付注意

リモコンコードを挟み込まないよう注意し、取り付ける。



6 フロントパネルの取り付け

- ①フロントパネルを取り付ける前に、必ずフィルターを外してください。
- ②初期出荷状態では吹出し口グリルが **a** の向きになっています。吹出し口グリルは **b** のように向きを変えて取り付けることができます。吹出し口がランドリーパイプ側に向くように吹出し口を取り付け直してください。
- ③フロントパネルを付属の+トラスタッピンねじ4×14（フロントパネル取付用）4本で取り付けてください。
- ④フィルターを点検口側から差し込んでください。
- ⑤ねじの頭をかくすため、付属のねじ穴カバー4個をはめてください。



⚠ 注意



取付注意

- 吹出し方向がランドリーパイプ側に向くように吹出し口グリルを取り付け直す。
- ねじ穴カバーは必ず取り付ける。
- ねじの締め付けトルクは2～2.5Nm（20～25kgcm）とする。

7 ダクト工事

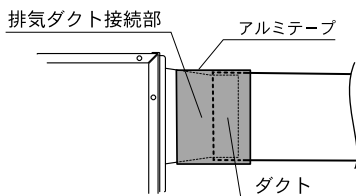
- ①外壁に排気ダクトを通す穴(φ110)を設けてください。
- ②排気ダクトを本体の排気ダクト接続部にしっかり差し込んで、アルミテープ等で排気ダクトが外れないように確実に固定してください。ダクトは、本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ③外壁面には低圧損型のベントキャップ、ウエザーカバー(市販品)などを取り付けてください。

⚠ 注意

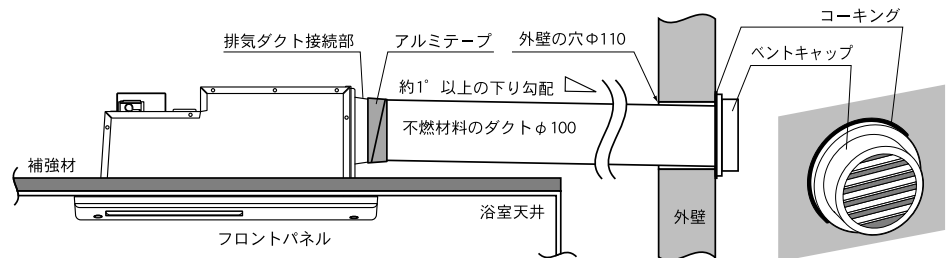
- アルミテープは接着面がダクトとダクト接続部にしっかりかかるように巻いてください。



取付注意



ダクト呼び径 φ100



警告



取付注意

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う。
- 本機は、単相AC100V専用です。
- 本機は、約1370W(温風)です。20A以上の専用の配線用遮断器(専用回路)を設ける。
- 浴室は湿度が高いため、分電盤に漏電遮断器を設ける。
- D種接地工事に基づいたアース線を必ず本体に接続してください。水道管、ガス管などへは絶対にアース線を接続しない。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造建築に金属製ダクトが貫通する場合は、電氣的に接触しないように取り付ける。
- 電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行う。
- 電気工事は必ず分電盤の浴室暖房・換気・乾燥機のブレーカーを切って行う。

①本体裏側電源端子台に配線用遮断器(単相AC100V)から電源ケーブル(VVFケーブル: ϕ 1.6mm~ ϕ 2.0mm)で直接結線してください。電源ケーブルの電源端子台への接続は下記手順に従い正確に行ってください。

メンテナンスの際、本体を容易に取外せるように、電源ケーブルは本体付近で2mくらいの余裕をとるように配線してください。

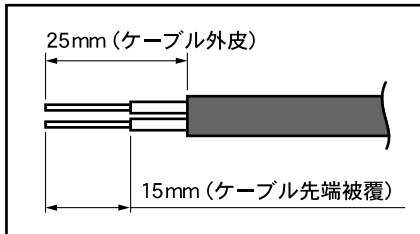
電源ケーブル接続方法

1. VVFケーブルの外皮を約25mm*むき、先端被覆を電源端子台正面のストリップゲージに合わせ、15mmむいてください。
2. 端子穴に心線を「ぐっと」奥までむきしろが見えないように確実に差し込んでください。

接地側の白線(灰線)を中央穴に差し込んでください。

ケーブル被覆のむき寸法

* 3心ケーブルの場合のみ、アース線についても同様の処理が必要となります。

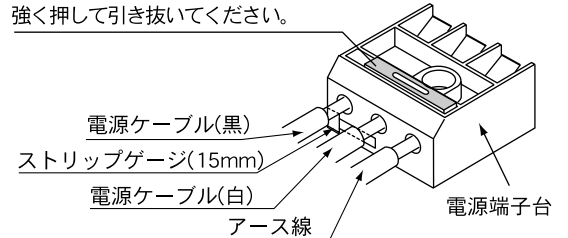


②本体裏側端子台にアース端子またはアース棒よりアース線(ビニール銅線: ϕ 1.6mm~ ϕ 2.0mm)で結線してください。アース線の電源端子台への接続は電源ケーブル接続方法と同様の手順で正確に行ってください。アース線も電源ケーブル同様に本体付近で2mくらいの余裕をとるように配線してください。

電源電圧に注意!!

指定電圧 単相AC100V

電源ケーブル又は、アース線をはずす時は、このボタンに電工ドライバー(小)を当て、強く押し引き抜いてください。



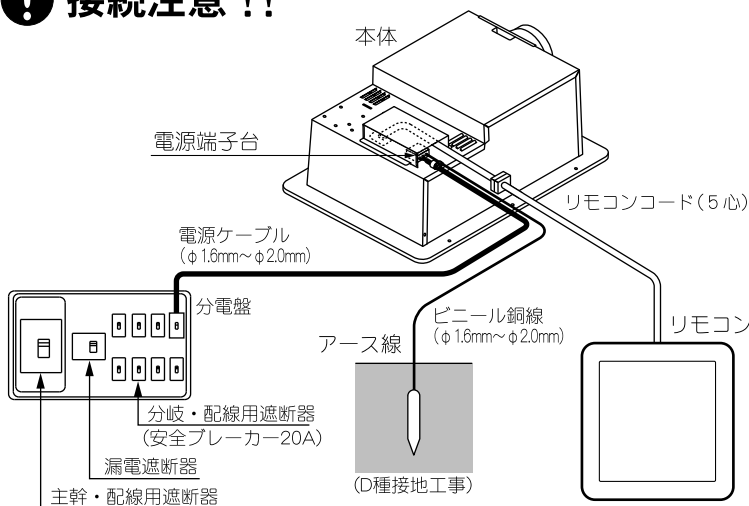
注意

- この電源端子台は ϕ 1.6~ ϕ 2.0mmの単線専用です。より線は接触不良により発熱の恐れがあるため絶対に使用しない。
- 差し込み不十分な場合、過熱する恐れがあり、焼損や火災の原因になります。

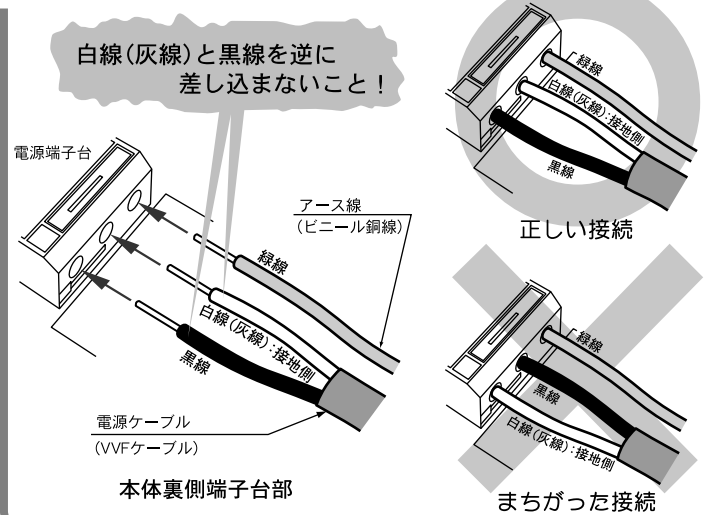
注意

D種接地工事によるアース線を確実に接続する。

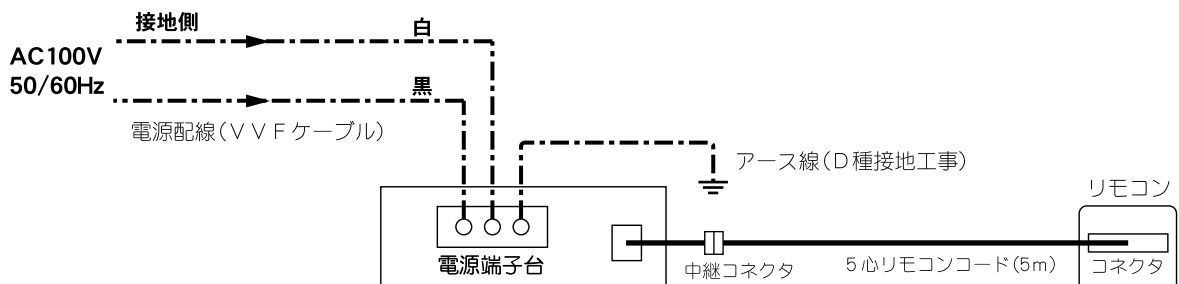
接続注意!!



接続注意!!



結線図



リモコンの取り付け

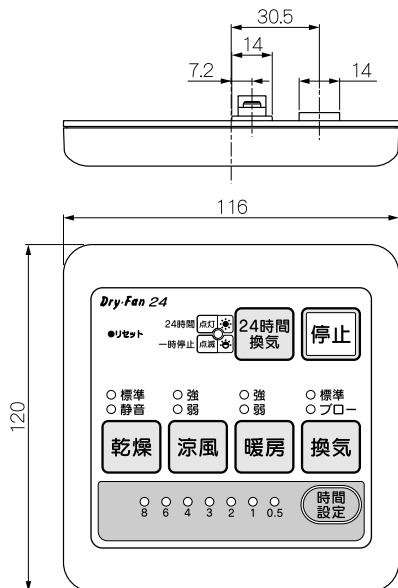
注意



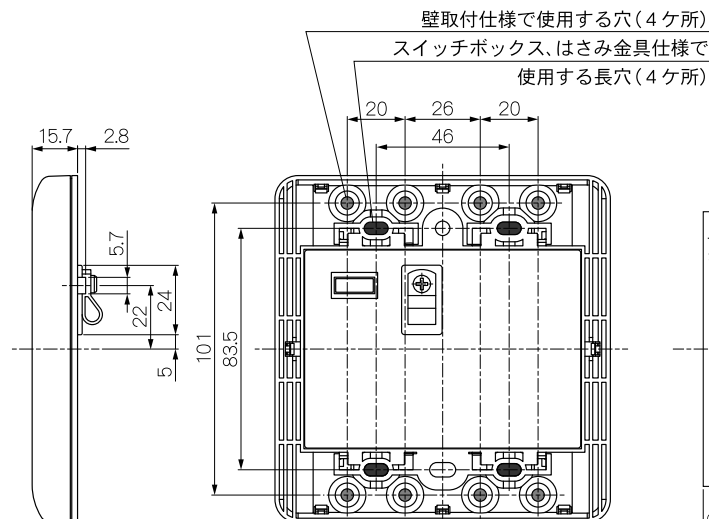
取付注意

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う。
- リモコンはお客様と打ち合わせて、操作に便利な位置に取り付ける。
- リモコンは洗面脱衣室など、必ず浴室外に取り付ける。防水構造になっていないので、浴室内には取付けない。
- リモコンと本体は5m、5心コードで接続します。リモコンコードは本体に接続されています。壁にリモコンコードを通線する時は、先端のコネクタ、接続電線部分を保護して作業を行う。また、通線の途中でリモコンコードが尖ったものへ接触したり、こすれたりしないように施工する。断線や故障の原因となります。

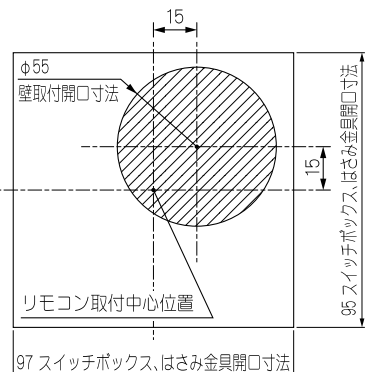
リモコン外形図(単位:mm)



※開口寸法 φ55(壁取付)
97×95(スイッチボックス、はさみ金具)



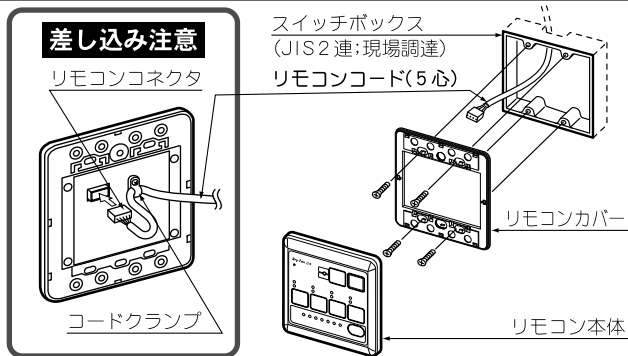
裏面図



リモコン取付開口寸法図

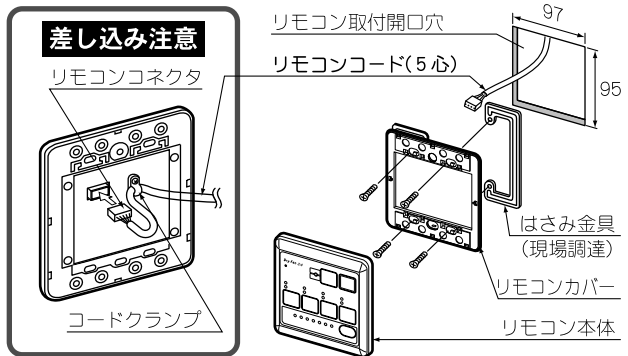
イ. スイッチボックスを使用する場合

- ① 取付場所に事前にスイッチボックス(JIS2連;現場調達)を取り付けておいてください。
- ② リモコンカバーを取り外してください。
- ③ リモコン裏のソケット(5P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④ リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑤ スイッチボックス用取付ねじ(現場調達)4本でリモコンカバーをスイッチボックスに取り付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
- ⑥ リモコン本体を元通りに取り付けてください。



ロ. 市販のはさみ金具を使用する場合

- ① 取付場所に穴(97×95mm)を開けてください。穴を開けるとき、リモコンコードを断線しないように注意してください。
- ② リモコンカバーを取り外してください。
- ③ リモコン裏のソケット(5P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④ リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑤ 各はさみ金具(現場調達)の取付方法で取り付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
- ⑥ リモコン本体を元通りに取り付けてください。



ハ. 壁へ直接取り付ける場合

- ねじが効きにくい壁には、事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。
- ① 取付場所に穴(φ55mm)を開けてください。穴を開けるとき、リモコンコードを断線しないように注意してください。
 - ② リモコンカバーを取り外してください。
 - ③ リモコン裏のソケット(5P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
 - ④ リモコンコードをコードクランプで固定してください。
 - ⑤ 付属の+皿タッピンねじ4×35(リモコン取付用)4本でリモコンカバーを壁に取り付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
 - ⑥ リモコン本体を元通りに取り付けてください。

